

[V7. 1. 1. 4] : 2020. 11. 1

- 1) 大容量優先時（らん太にNCプログラムを一時保管しない設定）、データ送信が途中で止まる不具合を修正しました。

[V7. 1. 1. 3]

- 1) LT330の安全保護機能である、送信データ自動一時保存処理の有効/無効を、選択できる機能を追加しました。
- 2) パラメータ#22（サブプログラム呼出キーワード）の初期値を変更しました。

[V7. 1. 1. 1]

- 1) スイッチパネル基板の変更に伴い、ソフトウェアを修正いたしました。
- 2) ファイルの先頭ブロック（行）にサブプログラム呼出キーワードがある時、サブプログラムが出力できない不具合を修正。

[V7. 1. 0. 2]

- 1) ファイルの先頭ブロック（行）にサブプログラム呼出キーワードがある時、サブプログラムが出力できない不具合を修正。

[V7. 1. 0. 1]

- 1) ディレクトリ選択画面で、現在画面のディレクトリ名（フォルダ名）を表示できるようにしました。
- 2) ファイル選択時に最下段に表示されるファイル内容を[4][6]キーで左右スクロール表示できるようにしました。
- 3) ディレクトリ名（フォルダ名）を[4][6]キーで左右スクロールした時の、表示バグを修正しました。
- 4) ディレクトリ選択画面で、ディレクトリが無い場合の表示を” Not Found” から” No Folder” に、ファイル選択画面でファイルが無い場合の表示を” Not Found” から” No File” に変更しました。
- 5) パラメータ#14「送信開始インターバル」に、0 以外（1 は無効）の値を入力した時（単位msec）、データ先頭のDC1 に対してのみでなく、すべてのブロック（行）毎にインターバルを設けるようにしました。
- 6) パラメータ#28の追加：サブディレクトリ選択機能の有効/無効にするかどうか選択できるようにしました。
- 7) パラメータ#50の追加：データ入力時、受信するデータの区切りコードを[CR+LF]に変換して保存できるようにしました。
- 8) モニタリング機能の有効/無効を従来のパラメータ#28ではなく、本体操作による設定に変更しました。

[V7. 1. 0. 0]

- 1) NCデータコピーガード機能を追加しました。
- 2) データ送信開始、送信完了時、送信中断時にメール発信する機能を追加しました。
- 3) サブフォルダ移動機能を追加しました。
- 4) 本体内部フォルダ（DATA1～9）からの送信データをRAMに自動一時保存しないようにしました。
- 5) パラメータ#20の追加：リモートコマンドM198使用時、保存ファイル名に自動的に0を付加するかどうか選択できるようにしました。
- 6) パラメータ#27の追加：リモートコマンドで<ESC>&Hで、Hに続く番号をファイル名にするかオーダー番号にするかどうか選択できるようにしました。

- 7) パラメータ#40の追加：リモートコマンドM198使用時、保存ファイル名の0を無視するかどうか選択できるようにしました。
- 8) USBに保存されているファイルの日付表示がずれる不具合を修正しました。

---

[V5. 1. 2. 2]

- 1) LT330の安全保護機能である、送信データ自動一時保存処理の有効/無効を、選択できる機能を追加しました。

---

[V5. 1. 2. 1]

- 1) スケジュール運転機能が追加されファイルを複数選択し、指定した順番に自動的に出力することができます。
- 2) 本体内部メモリを512MB（※データ保存領域約467MB）に増量しました。

---

[V5. 1. 0. 2] : 2012. 04. 02

- 1) ファイル一覧画面で9文字以上のファイル名の確認が可能になりました。
- 2) ファイル一覧画面でファイル名先頭からの文字列を指定しフィルタリングすることが可能になりました。
- 3) 本体操作で日時設定が可能になりました。（メンテナンス時に使用します。）
- 4) NCからのデータを受信する際、ISO/EIAの自動判別が可能になりました。

---

[V4. 5. 17] : 2012. 01. 10

---

第一出荷バージョン

---